

CIL とちぎ 3.11 の記憶

支援

今から 7 年前のことを思い出すのは大変です。日記も付けない私の事ですから、大変でも、その前日の 3 月 10 日（木曜日）は夫が足を骨折して救急車で済生会病院に入院した日でした。そこから考えると、いろいろ思い出してきました。

病院の帰り、運転をしていた友人に「ガソリンがないですよ」と言われ、いつもの様に今度、出掛ける前に入れようと思い給油をしなくて帰宅した。

次の日は、お風呂の日で午後 1 時からのおんびり、ゆったり入り、2 時半には終わりキッチンでお茶を飲んでいる時、カタカタと始まり、テレビ、タンス、テーブルが大きく揺れ始まり、「うわー、いつまで続くの、この揺れはー」揺れが終わったら電気が消え、その夜から暗闇の世界の始まりだった。

その夜、「自立生活センターとちぎ」からメール、電話のやり取りがあったが、なかなか繋がらないせいか、女性スタッフが夜遅く玄関をあけ見に来て下さり、ホッとしました。ベッドに上がる前に、トイレの水が流れるか確認して、石油ストーブも物置にあったので出し、一晩中付けっぱなしでないと寒い

日でした。リフトも動くかどうか確認、スウェーデン製の充電式だったので動くのでホッとす。カイロも買いだめ好きの私でしたので多くあり、良かった。

次の日から定期停電が始まり、このエリアはいつなのか知る方法は、たまに付くテレビ、ラジオが頼りで、定期停電の日が夕方の方は、近くの友人が一緒にいてくれて、本当に助かりました。

昼間の停電の時は、ガソリンの無い中、友人がいてくれ、パスタを茹でて 2 人で食べて嬉しかった事を思い出です。また、灯油を自転車で買いに行ってくれた「ナルク」の方、ありがとうございます。いろんな方の助けがあり、今があると思っております。

障害者は公民館や体育館での避難暮しは無理だと思います。住み慣れた住宅で、不便な状況でも助けて頂きながら過ごすしかないのではと私は思います。これからも、このような災害は又来るのではと思いますが、準備と言われても、障害者には限られています。残念ですが、思いつかないです。

【身体障害 1 級（夫婦共に車いす利用）】



エレベーター

真岡のアパートにいた時に地震に遭遇。普段から長
そうな地震のときは、玄関ドアを開けるようヘルパー
に伝えていたので、ヘルパーは行動実施。



揺れが止まらないため、外駐車場へ避難。しばらく
して、迎えのタクシー到着。

通って来た住宅の塀や屋根瓦など崩れていたり、信
号機が機能していないなどの情報を得たので、1番近い
コンビニへ寄ってもらい充電器や水食料を買込む。

自宅マンションのエレベーターが止まっていたが、
電気などには影響がないと住民から聞き、他への避難
も難しかったため、ヘルパー・タクシーの運転手さ
ん・駆けつけた弟で10階までの階段を休み休み上げ
て頂いた。

いつエレベーターがいつ止まるか分からないので、
家を出る時は非常食・カイロ・水分などを携帯して外
に出る。1人暮らしでヘルパーの介助なしでは生活が
出来ない。近くに住む弟しか家族がいない。でもどう
しても出来ない介助もあり、ヘルパーに来てもらえる
よう余震の影響で不安がっていたヘルパーの心理的
不安を除けるよう努めてコミュニケーションをとっ
た。震災後1週間は夜間帯に弟も泊まってもらった。

【身体障害1級（一人暮らし）】

車中

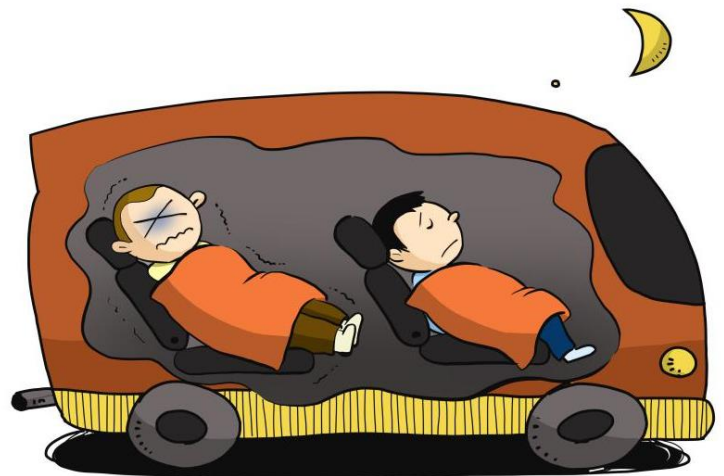
震災日に、買い物に行くのに駐車場で車椅子を下
したときに地震があり、自動車から落ちるような揺
れだったので、買い物をしないで帰宅することにし
たが、奥さんが勤務されている病院も患者さんで大
変で直ぐには返れないということで、お子さんを保
育園まで迎えに行くが、その間も道路は渋滞、余震
等で路肩に停止しながら帰宅された。信号機はつい
ていなかった。

自宅周辺は4,5日間くらい停電で、自宅の昇降機
も停電の為使えずに、スロープで上がったが部屋は
めちゃくちゃだし、ベットは2階だったことや余震
等もあり自動車の中で過ごすことにした。2階にはホ
ームエレベータなので2階にもいけなかった。

家族は、1階の畳の上で生活されていた。
自動車の中が良いということで生活していたが、布
団やエアコンを着けたり、消したりしながら生活し
ていたが、寒かったので39度まで熱が出てしまった。

4,5日車中泊は、きつく大変な生活だった。

【身体障害1級（一人暮らし）】

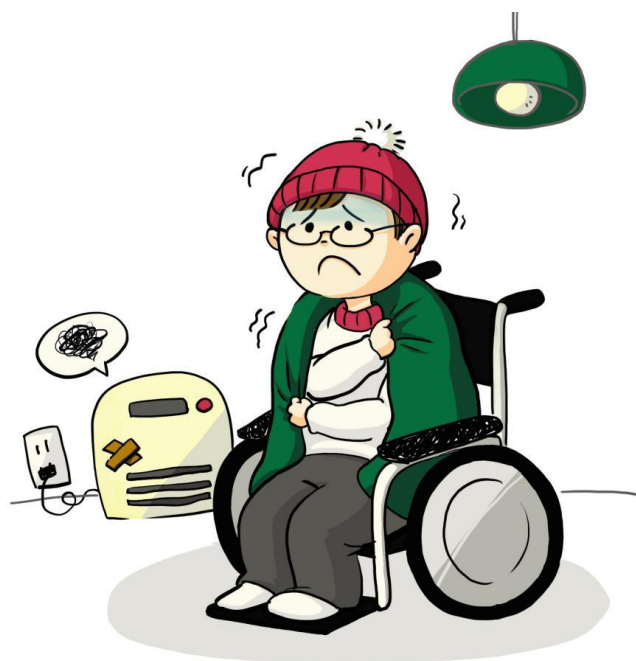


リフト



移動リフトでベッドから車椅子へ移動中に地震に遭遇した

ヒーター



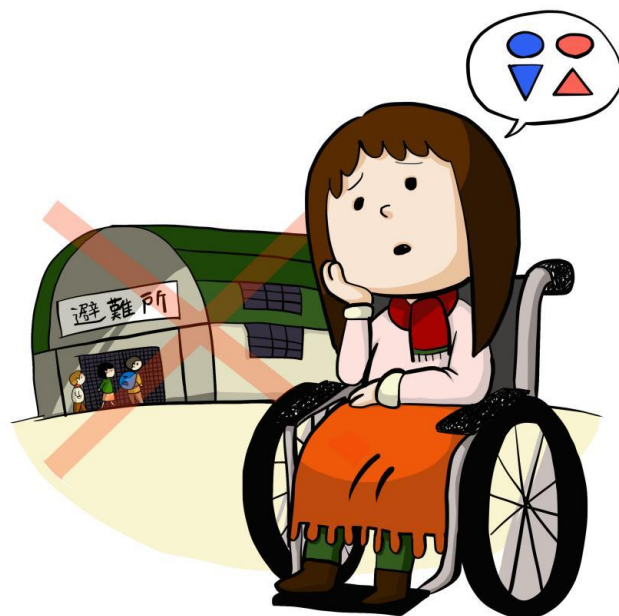
暖房器具が使えず、体温調整が出来ないので寒い日を過ごした

停電



電気が使えないので暗い部屋で夜間を過ごした

避難所



排泄障害の為、避難所生活は無理